

「SHIP! SPACE」講座

当事者・家族と、ともに考える、学び合う、対話する、実践する、一步を応援

第5回 オンライン講座

(全12回シリーズ)

学校の「当たり前」を問い直す

不登校35万人。小中高生の自殺者数は過去最多を記録した。不登校児童を抱える保護者の離職、自責感、心理的負担も深刻だ。家族が追い詰められていく背景には、様々な「学校リスク」(体罰、いじめ、自殺、ブラック校則、部活動や教員の過重労働等)があると言われる。しかし問題の本質は見えにくい。本講座では、教育社会学者の内田良氏、学校問題の実態について発信を続ける現役教師の西村祐二氏を迎え、現場にある危機的事例やデータをもとに、私たちの学校に対する常識を問い直す。子どもの権利を守るための学校のあり方とは何か？学校教育や社会はどう変わっていけばいいのか？今こそ、考えたい。

教育社会学者の立場から

「わからない」からはじめよう

エビデンスにもとづく
学校リスクの見える化活動

うち だ り ょ う

内田良

1976年福井県生まれ。名古屋大学大学院教授。教育社会学者。「学校リスク学」を提唱し、部活動の長時間労働や学校事故、校則問題など、教育現場のリアルな課題をデータで可視化し積極的に発信している。著書に『教育という病』(光文社新書)、『ブラック部活動』(東洋館出版社)。最新著は、『増補「児童虐待」へのまなざし：社会現象はどう語られるのか』(岩波現代文庫)がある。



現役教師の立場から

学校の 息苦しさの正体

にし む ら ゆ う じ

西村祐二

1979年兵庫県西宮市生まれ。関西学院大学卒業後、小劇場や自主映画で活動。岐阜大学大学院に進学し、32歳で現職の岐阜県立高等学校の地歴科教諭に。教師の労働問題や生徒の校則問題について発信している。著書に『シン・学校改革』(光文社)、共著『先生がいなくなる』(PHP新書)など。演技を交えた授業には定評がある。



【講座参考図書】



SHIP! 第3号
特集「学校問題と
ひきこもり」

不登校の親の立場から

おい か わ も と こ
老川素子

不登校は35万人もいて、不登校傾向の子を含めたら100万人を超えていると言われる。その数の多さから見て、個人や家庭の問題でなく、社会の問題ではないのだろうか。義務教育に保護者として関わって10年目、不登校・行き渋り対応6年を通して感じる学校への疑問を投げかける。



コメンテーター

い げ が み ま さ き
池上正樹



つぎが大人の長期ひきこもりを生んでいる。学校問題の本質はどこにあるのか？

1962年生まれ。横浜市出身。SHIP!共同代表。ジャーナリスト。約30年にわたり、ひきこもり関係取材。学校時代の傷

講座コーディネーター

う え だ り か
上田理香



性を伝える。子どもの自殺、いじめ、暴力など命や人権に関わるリスクが無くなる学校への道を模索。

1971年東京生まれ。SHIP!共同代表。コーディネーター。相談や講演活動を通じ、当事者視点の理解、家族支援の重要

8月18日(火)

18:00
～
20:30

本講座は**完全オンライン**講座です。
(会場参加はありませんのでご了承ください)
アーカイブ配信 9月8日～(申込受付2日前まで)

受講費

SHIP!第3号「学校問題とひきこもり」
購読の当事者経験者＝**無料**

購入されない方は参加費 1,500円(税込1,650円)

支援者・家族・一般＝1回 3,500円(税込3,850円)

SHIP! SPACE 講座は、年間**全12回**。
当事者フリーパス・会員フリーパス割引、
団体割引があります。詳細は
チラシ裏面・公式サイトをご覧ください。

【お問い合わせ】

一般社団法人 SHIP ひきこもりと共生社会を考えるネットワーク

上田理香(コーディネーター、SHIP!共同代表) 池上正樹(コメンテーター、SHIP!共同代表)

<https://shiphiki>

SHIP! ひきこもり

お申込、
詳細はコチラ ▶



見えなかったもの、見過ごされていた課題に光を当て、
生きやすい今とこれからを当事者視点で考えていく

SHIP! SPACE講座 (2026年度)

今苦しむあなた、家族、支援者、かかわるみなさんに知ってほしいこと、一緒に考え、実践していきたいこと。

制度の狭間を当事者視点から考える ～「生きる」と「暮らし」と「尊厳」をテーマに～

全12回

毎月第3火曜日 18時00分～20時30分

オンラインもしくはハイブリッド（アーカイブ有。オンライン開催のみの場合もあります）

※6月のみ2回 ※6月25日のみ木曜開催 ※タイトルは変更になる場合があります

ハイブリッド開催の場合のリアル会場＝渋谷区地域共生サポートセンター《結・しぶや》

渋谷区桜丘町23-21 渋谷区文化総合センター大和田9F

第1回 5/19 (火)

いじめ後遺症を
生きる

講師＝
イナ 「いじめ後遺症ドットコム」主宰
瀬尾りお 「いじめからの逃げ方」著者

参考図書：SHIP! 第4号

第2回 6/16 (火)

ひきこもりと働く

本人と社会と働くの
間にあるギャップ
働きたいが、働くとは
なんなの？

講師＝当事者、家族、ピアサポーター
協力：KHJ全国ひきこもり家族会連合会

参考図書：SHIP! 第5号

第3回 6/25 (木)

身寄り無し問題と
8050問題

住まい、医療、身元保証
家族がいてもいなくても
情報が助けになる

講師＝
滝野隆浩 毎日新聞客員編集委員
藤井奈緒 (一社) 親なきあと相談室
関西ネットワーク代表理事

第4回 7/21 (火)

自分の経験、
生きづらさを
言葉にして
伝えてみる

講師＝
滝野隆浩 毎日新聞客員編集委員

第5回 8/18 (火)

学校の『当たり前』
を問い直す

不登校・ひきこもり・多様な
困難の中にいる子どもたちの
未来を拓くために

講師＝
西村祐二 岐阜県立高等学校教諭
内田良 名古屋大学大学院教授

第6回 9/15 (火)

住まいと命と人権と
引き出し・押し出し・説得

講師＝当事者、
日本羅針盤法律事務所、
中井町議会議員、養育里親

第7回 10/20 (火)

自宅に居たままで
生活の質を上げる

～ケアの訪問化へ
医療、内科・歯科等の往診、
訪問美容、訪問マッサージ等の
在宅生活を支える
(KHJ実態調査から)

第8回 11/17 (火)

感覚過敏の人が
感じている世界
生きづらさを知る

講師＝当事者、家族、有識者
参考図書：SHIP! 第4号

第9回 12/15 (火)

お金のこと
家族と話すには

きょうだいと家族の葛藤

講師＝兄弟姉妹、家族、有識者
参考図書：SHIP! 第4号 / たびだち108号

第10回 1/19 (火)

生活保護と
ひきこもり

一步を踏み出す
当事者たちの声から

講師＝当事者、家族、
ケースワーカー、有識者
参考図書：SHIP! 第7号

第11回 2/16 (火)

8050問題
介護と暮らしと発達特性

～片付けられなくても
買い物できなくても

講師＝地域包括支援センター
成年後見センター、当事者、家族
参考図書：SHIP! 第7号

第12回 3/16 (火)

自分に合った
居場所(人)を探して

～自宅も居場所

講師＝当事者、家族、
地域の居場所コンシェルジュ
(昼スナック、お寺、メタバース、
書店、カウチャーフィン etc.)
参考図書：SHIP! 第8号 / たびだち106号

受講費 オンラインもしくはハイブリッド（アーカイブ有）

当事者・経験者＝1回1,500円（税込1,650円） ※第4回のみ2,000円（税込2,200円）

支援者・家族・一般＝1回3,500円（税込3,850円）

SHIP! 会員フリーパス（全11回・参加可能 第4回はワークのため含まれません）

（定期購読・ネットワーク会員）当事者8,000円（税込8,800円） それ以外の方28,000円（税込30,800円）

※会員以外の方・ニュース会員の方は別料金となります。お問い合わせください。

団体割引＝アーカイブ視聴5名様分のお申込で何名でも無料（1回につき）